

米でコロナ変異型拡大 2カ月ぶり新規感染6万人

2022年5月6日日本経済新聞



【ニューヨーク=大島有美子、ロンドン=佐竹実】米国で新型コロナウイルスの変異型の感染が広がり、一部の州が警戒を強めている。7日移動平均でみた新規感染者数は4日、約2カ月ぶりに6万人を超えた。ニューヨーク市ではマスク着用義務の再開について検討する。欧米ではコロナ規制の緩和・撤廃が相次ぎ、経済活動の正常化が進んできたが、足元の感染拡大で見直す動きも出始めた。

米ジョンズ・ホプキンス大によると、4日の米国内の新規感染者数（7日移動平均ベース）は6万1500人となった。3月1日（6万2600人）以来の高水準だ。米メディア「アクシオス」によると、全米の約45の州でここ2週間、コロナ感染者数が増加している。

5月4日時点のコロナによる死者数は累計で99万6700人に増えた。3日の死者数は556人となり、なお低水準に抑えられているものの、じわり増加傾向にある。累計で100万人が目前に迫る。

特に感染が広がっているのが、オミクロン型の派生型で感染力が強いとされる「BA. 2. 12. 1」だ。米疾病対策センター（CDC）によると、BA. 2. 12. 1の全感染に占める割合は4月24～30日に37%を占めた。前週（27%）から1週間で10ポイント増えており、感染ペースの拡大は急だ。この派生型は4月にニューヨーク州の保健当局が検出した。

ニューヨーク州では5月4日の感染者数が1万251人となり、1月28日以来の1万人超えとなった。このほどニューヨーク市ではコロナへの警戒レベルを「低」から「中」に引き上げた。市の保健担当者は米CNBCの取材に対し、屋内でのマスク着用の再義務化について「さらに警戒レベルが上がれば、真剣に検討する」と述べた。

感染が抑えられている欧州では規制を緩和・撤廃する流れが続く。英国では2月以降、感染しても隔離などの義務はない。フランスやドイツでは公共交通機関のマスク着用は残っ

ているが、ワクチン接種証明の提示義務などは原則無くなり、通常の暮らしに近づけようとしている。

欧州各国が重要視するのは感染者数よりも重症者数のデータだ。英国の場合、オミクロン型が流行してからは、人工呼吸器が必要な患者の数が増えていない。重症化せず、医療が逼迫しないのであれば、通常の風邪と同じように扱う、という考えが広がっている。入国規制も相次ぎ撤廃している。スイスは2日から、入国時に求めていたワクチン接種証明や回復証明の提示義務をなくし、コロナ前と同じ手続きに戻した。

英オックスフォード大の研究者らでつくる「アワー・ワールド・イン・データ」によると、3日時点の英国の人口100万人当たりの感染者数（7日移動平均）は約167人と1カ月前の7分の1程度に減った。感染しても報告しないケースも少なくないとみられる。

たい。